

はかたぎおんやまかさ “博多祇園山笠”で

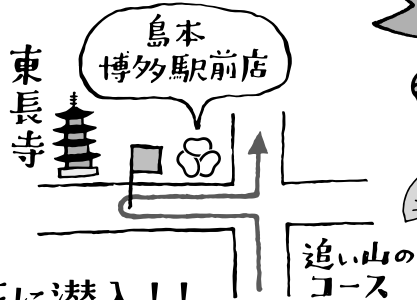
大賑わいの博多駅前店に行ってきました!

7月1日から始まる「博多祇園山笠」は疫病退散を願う神事で770年以上の歴史があり、“山のぼせ”といわれる博多っ子たちが、男気を全身からほとぼらしながら数トンの山笠を担いで街中を疾駆していくお祭りです。最終日の7月15日にはクライマックスの“追い山”を迎え、博多の街が熱気と興奮で沸き立ちます。

弊社の社長、波多江もそんな“山のぼせ”のひとり!博多どんたくの起源の博多松囃子を継承している「大黒流」に所属し、7月に入ってからはお汐井とりや流昇きなど、法被姿で博多のビジネス街を闊歩しています。



島本
鷹の爪新聞
たかのつめしんぶん
2022年
秋・69号
株式会社 島本食品



3年ぶりの「追い山」当日、博多駅前店に潜入!!

迫力満点の“追い山”を観るおすすめスポットのひとつが大博通りの「東長寺前」。

実は、島本の博多駅前店は「東長寺」のすぐそばにあります。“追い山”は東長寺前の清道旗を大きく弧を描いて廻るのですが、そこは博多駅前店の目の前。明け方の4時、外はあいにくの雨・・・にもかかわらず、“追い山”を観ようと店の前は観客がずらり!博多駅前店も4時半から店のドアを開け放ち、冷房や冷たいお茶でおもてなし。

焼きたての明太フランスも準備していたものが、あっという間に売り切れてしまいました。



明太フランスを販売している横で山笠のうちわを配るスタッフ



山笠が終わり、博多では本格的な夏が始まります。来年も無事に開催されることを祈りながら、会社へ。会社に戻ると・・・
弊社の男衆も興奮冷めやらぬ状態なのか、朝礼でみんなで「やー!!」と雄たけびをあげていました・・・。



〒811-0290
福岡県糟屋郡新宮町夜白2丁目9番1号
Tel. 092-963-3333 Fax. 092-962-1730
www.simamoto.co.jp
info@simamoto.co.jp
www.facebook.com/simamotometai

スタッフの日常

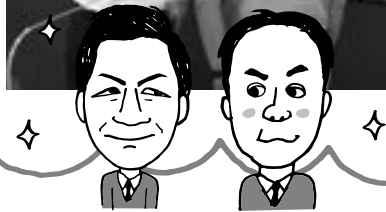
～男性陣のヒソヒソ話、その後～

男性陣 I 氏と H 氏のヒソヒソダイエット話を小耳にはさんだのがちょうど1年前。当時、新商品開発の試食で体重増加が止まらなかった I 氏と H 氏のダイエット談義を鷹の爪新聞でお伝えしましたが、I 氏と H 氏のその後は・・・。

一念発起して今もお昼ご飯にどんぶり山盛りの千切りキャベツで空腹を満たしている I 氏。休日のジョギングの効果もあったのか、なんと 4 kg の減量に成功！体調もバッチ



りで、今後も続けて筋肉ムキムキになるのを目指すと。そして、美味しいものをお届けする使命に燃え、改良のために毎日もつ鍋を食べ続けてズボンを2本破った H 氏は健康に目覚め、まずは身体を整えるため骨格矯正に向けて整骨院に通い続けること数ヶ月。今では体調も整いスッキリと身軽な体型に！これからは筋力増強に励もうかな、と。やり方は違えど、しっかりと成果を出している I 氏と H 氏。ふたりの奮闘はこれからも続く・・・。



お客様からのお便りご紹介コーナー

お取り寄せの定番品に！

味には少々うるさい千葉に住む 姉が、一度送った島本の明太と明太フランスが大のお気に入りとなり、取り寄せをしては、

近所に配っているそうです。これからも宜しくお申し込み申し上げます。
P.N. てんてこ舞い子様

郷里博多の味です

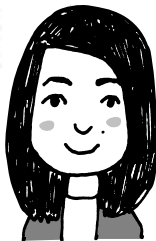
辛子明太子をいろんな社ものを食べくらべてみましたが、やっぱり島本が一番。卵が違い

ます。私の郷里博多の名品。誇らしく思います。
P.N. みーたん様

てんてこ舞い子様

楽しいお名前でお便りをいただきありがとうございます！味に厳しいお姉様にお気に召していただき大変光栄です。是非これからも島本のお取り寄せを楽しんでください！

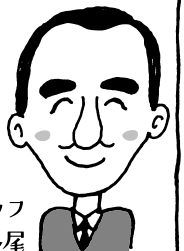
スタッフ 光富



みーたん様

大変うれしいメッセージにありがとうございます。博多、子のみーたんさんからお墨付きを頂き嬉しい限りです。これからも博多で一番と言われ続けるよう頑張ります。

スタッフ 外尾



島本 鷹の爪新聞 2022年秋・69号

お便り・ご感想などなどお待ちしております♪



お名前 または ペンネーム

様

TEL

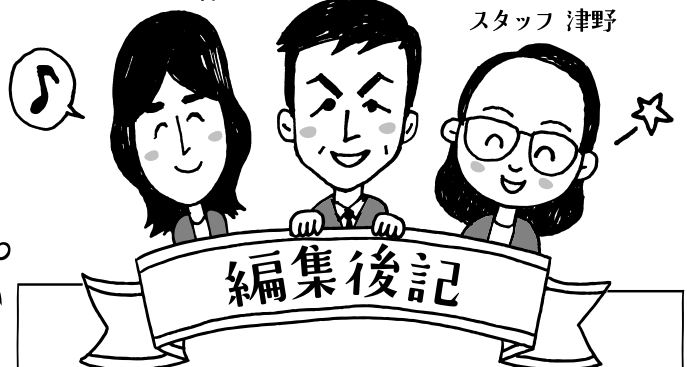
広告や販促物、WEBへの掲載 可・不可

【郵送】〒811-0290 福岡県糟屋郡新宮町夜白2丁目9番1号
【FAX】0120-44-2201 株式会社 島本食品 宛

スタッフ 森

スタッフ 緒方

スタッフ 津野



こんにちは。編集部石田です。今回「追い山」の日に博多駅前店に取材に行ってきました。いつもはテレビ中継で見ていた追い山。今年は目の前で「オイサ！」と勢いよく山を突き走り抜ける男衆の熱気とスピードに終始圧倒されっぱなしでした。そして山笠が終

わった後のしんとした静けさと清々しい空気が心が洗われるようでした。やっぱり『祭り』って最高ですね！さて、食欲や芸術・スポーツの秋がやってきました。でも、これも健康であってこそ！山笠にあやかり、みなさまの健康を願って「疫病退散！」

キリトリ線